

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第7週の発生動向

トピックス

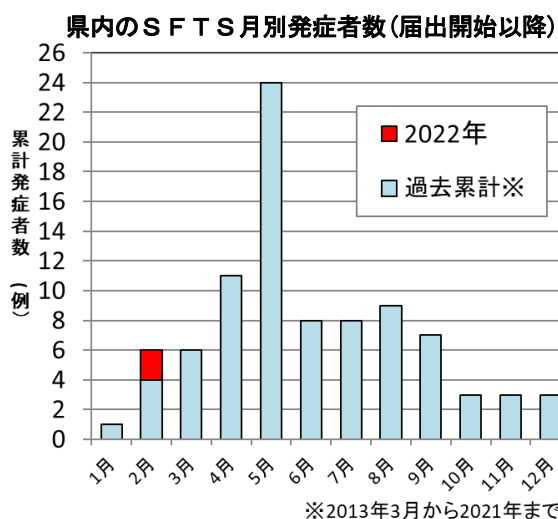
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市、日南保健所管内からあった。患者は70歳代と80歳代のいずれも女性で、ダニの刺し口は確認できなかった。また、70歳代の女性は、2月初旬に発症し、2月中旬に死亡した。県内での報告は、累計89例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	20	36	21	5

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症) の報告が1,528例あり、2022年の累積報告数は10,868例となった。



全数報告の感染症 (7週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：E型肝炎1例、重症熱性血小板減少症候群2例。
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例、梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核及び粟粒結核	痰、発熱、倦怠感
4類	E型肝炎	延岡	40歳代	男	—	なし
	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	80歳代	女	—	発熱、筋肉痛、神経症状、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、紫斑
5類	重症熱性血小板減少症候群	日南	70歳代	女	—	発熱、筋肉痛、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	都城	70歳代	男	—	腸炎
	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕性梅毒I期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹

新型コロナウイルス感染症 (7週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症1,528例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群											症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	
宮崎市	586例	111	70	66	101	76	44	45	39	20	13	1	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	208例	37	50	15	33	30	10	16	6	8	3		
延岡	230例	39	18	21	35	21	27	21	9	19	17	3	
日南	63例	11	7	5	15	4	3	10	5	3			
小林	51例	7	7		6	10	7	8	3	1	2		
高鍋	137例	39	17	17	17	23	9	8	6	1			
高千穂	18例	11			1	3	3						
日向	187例	56	39	9	23	36	13	6	5				
中央	29例	3	6	3	3	3	3	5	2		1		
県外	19例	3	2	5	2	3	1	3					

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は372人(定点あたり10.6)で、前週比80%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

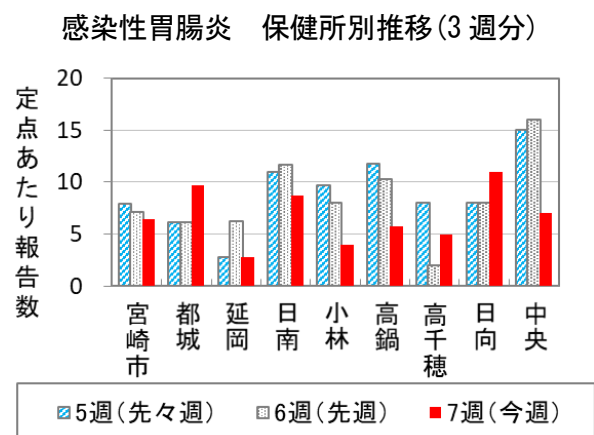
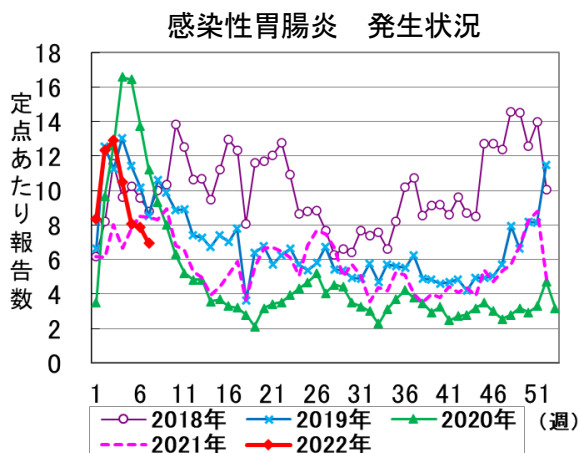
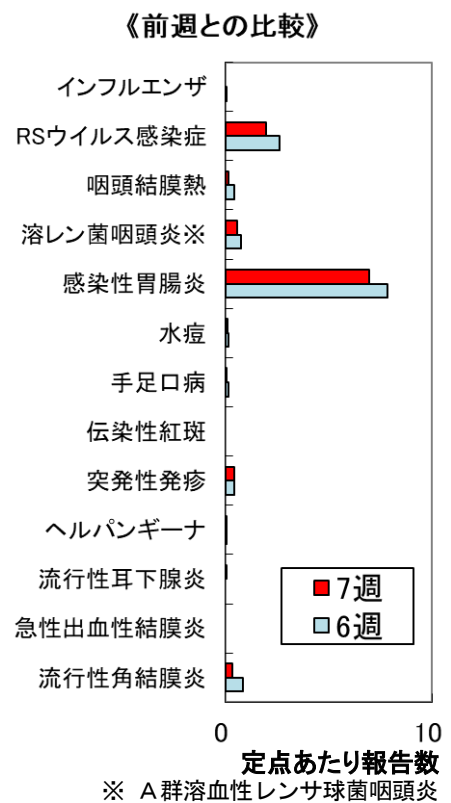
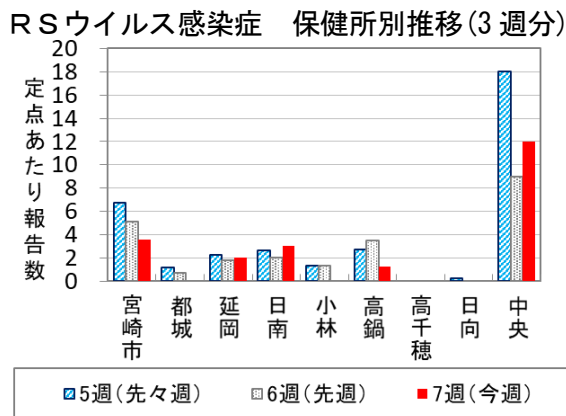
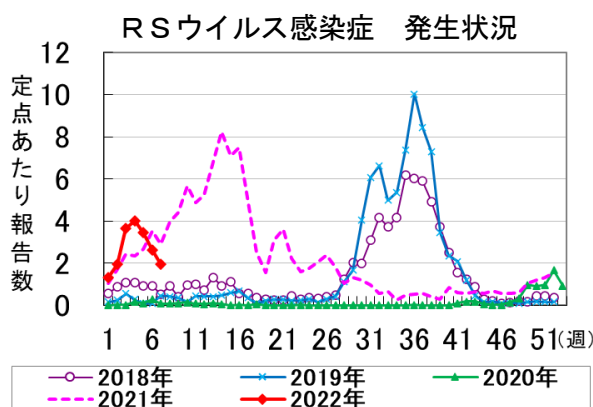
【RSウイルス感染症】

報告数は70人(1.9)で、前週比74%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(1.1)の約1.9倍であった。中央(12.0)、宮崎市(3.6)、日南(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から3歳が全体の約9割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は250人(6.9)で、前週比88%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(9.7)の約0.7倍であった。日向(11.0)、都城(9.7)、日南(8.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし。

🇯🇵 全国 2022 年第 6 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	145 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7 例				
4類感染症	E 型肝炎	4 例	A 型肝炎	1 例	つつが虫病	1 例
	日本紅斑熱	2 例	レジオネラ症	18 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9 例
	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例
	後天性免疫不全症候群	5 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	13 例
	梅毒	83 例	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	4 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 79%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は手足口病、ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎であった。

R S ウイルス感染症の報告数は 824 人(0.26)で前週比 76%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.34)の約 0.8 倍であった。宮崎県(2.6)、富山県(2.1)、熊本県(1.5)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 7 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 14,269 人(4.6)で前週比 79%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (5.0)の約 0.9 倍であった。大分県(14.0)、愛媛県(9.0)、宮崎県、鹿児島県(7.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第07週(02月14日～02月20日)

疾病名		第6週	第7週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1										
	定点当り	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	95	70	36		8	9		5			12
	定点当り	2.64	1.94	3.60	0.00	2.00	3.00	0.00	1.25	0.00	0.00	12.00
咽頭結膜熱	報告数	15	6	1		1	1		2		1	
	定点当り	0.42	0.17	0.10	0.00	0.25	0.33	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	27	20	4	1	1	11	1	1		1	
	定点当り	0.75	0.56	0.40	0.17	0.25	3.67	0.33	0.25	0.00	0.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	283	250	64	58	11	26	12	23	5	44	7
	定点当り	7.86	6.94	6.40	9.67	2.75	8.67	4.00	5.75	5.00	11.00	7.00
水痘	報告数	5	4		4							
	定点当り	0.14	0.11	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	5	2			1		1				
	定点当り	0.14	0.06	0.00	0.00	0.25	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	16	16	7	1		2	3	2		1	
	定点当り	0.44	0.44	0.70	0.17	0.00	0.67	1.00	0.50	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	2	2								
	定点当り	0.83	0.33	0.67	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～7週)

2類感染症	結核	12例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例(1)	重症熱性血小板減少症候群	2例(2)
	レジオネラ症	1例		つつが虫病
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	1例	梅毒	12例(1)
新型コロナウイルス 等感染症			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例(1)
	新型コロナウイルス感染症	10868例(1528)	破傷風	1例

()内は今週届出分、再掲